



## 2 おもちゃライブラリー

おもちゃで自由に遊んだり、保護者同士や地域との交流を広げるふれあいの場です。小さな子どもを連れて歩いていけるような近く（各地区の交流センターなど）で開催され、憩いの場として遊んで楽しめる、子育て世帯にとって心強い存在です。

子どもたちはおうちとは違う環境での遊びを楽しんでいました。



保護者同士の交流も多くみられました。お話しや情報共有の機会が設けられていることで、みんながリフレッシュできる場所になっています。

詳しくはこちら

市社協 HP で各地区の開催日時や場所を確認できます。



## 3 地域子ども食堂

日立市社協では、子どもたちのために安価で温かい食事と地域住民との交流の場を提供する「地域子ども食堂」を運営する団体に支援を行っています。市内には13の地域子ども食堂があり、みんなで楽しく食卓を囲んでいます。



詳しくはこちら

市内の子ども食堂は市社協HPで確認できます。



今回取材した子ども食堂「ひとのわ」を創設した菅野さん。子ども食堂がなかったら知り合えなかった人と関わることができたという話を伺い、人や地域とのつながりの大切さを感じました。

## 編集後記

今回の取材を通して、温かな地域の実情を知ることができました。日立市社協の取組に私たちも参加してみ、人と人が助け合い、支え合って、誰もが安心して暮らせるまちづくりにつながっていると実感できました。

今後、この記事を見て興味を持ってくれた方が活動に参加するきっかけになったら嬉しく思います。最後に、ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



## ほかにもたくさんの取組を行っています

詳しくは日立市社協 HP をご覧になるか、問い合わせください。



日立市社会福祉協議会

☎ 87-7222  
FAX 24-2880  
幸町 1-17-1  
(ヒタチエ別館3階)



ふくしのまちづくりを目指す

# 日立市社会福祉協議会

私たちは、茨城キリスト教大学心理福祉学科の学生です。今回は、「ふくしのまちづくり」に取り組んでいる日立市社会福祉協議会取材しました。さまざまな取組の中から、私たちが実際に参加したものを紹介します。



金田のぞ美

加藤日菜子

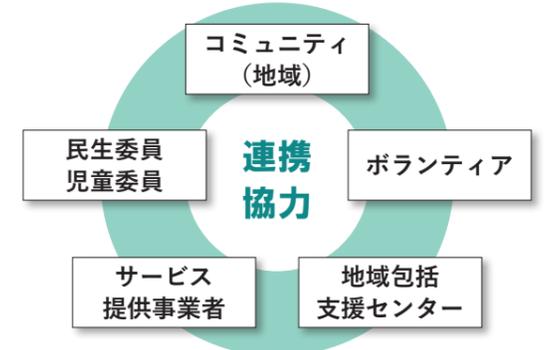
## ガクレポ

「ガクレポ」は、若い世代に市報をもっと身近に感じてもらうため、市の取組や地域課題の解決に向けて取り組む関係団体などを大学生が取材し、記事を作成するものです。今回は、茨城キリスト教大学の学生が作成しました。  
問合せ 広報戦略課  
☎ 内線 717

## 社協って何？

社会福祉協議会（社協）は、すべての都道府県・市区町村に設置されており、地域や世帯が抱えるさまざまな福祉課題を地域全体の課題としてとらえ、みんなで考え、話し合い、協力して解決を図ることを目的としている団体です。

日立市社協では、身近な地域で誰もが安心して暮らすことができるよう、子育て世代や高齢者、障害者の方などへの支援を通して、助け合い、つながり合い、支え合う地域づくりを行っています。



## 市民の皆さんが気軽に参加できる取組の一部をご紹介します



## 1 ふれあい菜園

ふれあい菜園は、居場所づくり支援の一環として、日立市社協が独自で行っている取組です。東滑川町にある畑で、子どもや学生、高齢者、障害者、地域の方々、企業、職員の方など、みんなで野菜をつくり、収穫しています。更に、できたものを子ども食堂に提供するなど、季節の野菜づくりを通してさまざまな福祉の輪を形成しています。



外に出る機会の少ない方や学生ボランティアの方など、全世代の交流の場になっています。

参加者の声

菜園での活動を通していろいろな人と話ができるので、いつも楽しんで参加しています。収穫した時の達成感は格別です！



あなたも参加してみませんか？

とき 毎月第1・第4木曜日、第2金曜日  
各日午後2時～4時  
ところ 東滑川町1-37  
申し込み 事前に日立市社会福祉協議会に連絡を